

整理番号	ホワイトアップ 300GX20/CS	作成日	2002年9月26日
2747-03	横浜油脂工業株式会社	改定日	2016年2月22日

Ver. 11.08

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	ホワイトアップ 300GX20/CS
製品コード	2747
会社名	横浜油脂工業株式会社
住所	横浜市西区南浅間町 1-1
担当部門	技術開発部
担当者	永富和哉
電話番号	045-311-4701
FAX番号	0463-89-1330
緊急連絡の電話番号	045-311-4704
奨励用途及び使用上の制限	●食器、まな板、ボール、グラス、コーヒーサイフォン、ゴミ入れ、ザル等の漂白・除菌・消臭 ●自動販売機内のミキシングボール、コーヒーブリュアー等の洗浄・除菌 ●茶しぶ、コーヒー、紅茶の汚れの漂白・除菌・洗浄 ●おしぼり、ふきん、白衣、クロスの漂白・除菌・消臭
作成日	2002年9月26日
改正日	2016年2月22日
整理番号	2747-03

2. 危険有害性の要約

GHS分類

酸化性固体	区分 3
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A

※記載のないものは区分外、分類対象外または分類出来ない

GHSラベル要素

シンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

火災助長のおそれ:酸化性物質
強い眼刺激

3. 組成、成分情報

化学物質 ・混合物の区別
・混合物

成分名/化学名	含有量 (wt%)	CAS No.	化審法
炭酸ナトリウム過酸化水素付加物	非公開	15630-89-4	(1)-143
炭酸ナトリウム	非公開	497-19-8	(1)-164
炭酸水素ナトリウム	非公開	144-55-8	(1)-164

整理番号	ホワイトアップ 300GX20/CS	作成日	2002年9月26日
2747-03	横浜油脂工業株式会社	改定日	2016年2月22日

Ver. 11.08

PRTR法報告物質

非該当 該当物質は含有しない。

毒物及び劇物取締法

非該当 該当物質は含有しない

労働安全衛生法

通知物質：法第57条の2、施行令18条の2別表第9 名称等を通知すべき有害物質

非該当 該当物質を指定量以上含有しない。

有機溶剤中毒予防規則

非該当 該当物質は含有しない。

4. 応急処置

大量に吸入した場合

- ・吸入をして気分の悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分の戻らない時は、医師の診断を受けること。
- ・呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
- ・呼吸が弱い場合は人工呼吸や酸素吸入を行う。
- ・上記症状が出た場合、直ちに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ・直ちに水で洗い流し、石鹼で液が付着したところをよく洗うこと。
- ・直ちに、汚染された衣類をすべて取り除くこと。皮膚を流水で洗うこと。
- ・皮膚刺激または手荒れや発疹・水泡などが生じた場合は、直ちに医師の診断を受けること。
- ・気分が悪くなった場合は、医師の診断を受けること。
- ・汚染した衣類を再使用する場合は洗濯してから使用すること。

目に入った場合

- ・清浄な水で最低15分間目を洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
- ・コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。
- ・洗浄後、医師の診断を受けること。
- ・激しい痛みがある場合は、直ちに医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

- ・直ちに水で口の中を洗浄する。
- ・直ちに医師の診断を受けること。
- ・無理に吐かせないこと。
- ・子供などが飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診断を受けること。

最も重要な兆候及び症状

- ・情報は得られていない。

応急措置をする者の保護

- ・救助者は、ゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項

- ・特別な解毒剤はない。症状に応じて対症的に治療する。
- ・具体的な治療法が明確でない時は、日本中毒情報センター又は大学病院情報センターへ連絡する。

整理番号	ホワイトアップ 300GX20/CS	作成日	2002年9月26日
2747-03	横浜油脂工業株式会社	改定日	2016年2月22日

Ver. 11.08

5. 火災時の措置

消火剤

- ・一般火災の場合は水を用いる。

火災時の特有の危険有害性

- ・加熱分解により発生する酸素ガスが周囲の可燃物の燃焼を助け、火災を激しくするので注意が必要である。（支燃性がある）

特有の消火方法

- ・消火作業は、可能な限り風上から行なう。
- ・関係者以外は安全な場所に退去させる。
- ・周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
- ・火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ・周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。
- ・消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護

- ・消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。
- ・消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- ・漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
- ・漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。
- ・作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。
- ・風上から作業し、風下の人を退避させる。
- ・着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
- ・こぼれた場所はすべりやすいために注意する。

環境に対する注意事項

- ・流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収、中和

- ・少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。火花を発生しない安全な用具を使用して、密閉できる容器に回収する。
- ・アルカリ性の製品なので、必要があれば酸（希塩酸、希硫酸等）で中和する。
- ・回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。
- ・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。

二次災害の防止法

- ・漏出時は事故の未然防止および拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ・製品記載の使用上の注意を良く読み、用途以外に使用しないこと。
- ・アルカリ性なので、酸性の製品との接触を避ける。

整理番号	ホワイトアップ 300GX20/CS	作成日	2002年9月26日
2747-03	横浜油脂工業株式会社	改定日	2016年2月22日

Ver. 11.08

保管

安全な保管条件

- ・製品記載の保管条件を読み、適切に保管すること。
- ・容器を密栓すること。
- ・日光から遮断し、40℃を超える温度に暴露しないこと。
- ・酸と一緒に保管してはならない。

安全な容器包装材料

- ・ステンレス製容器、プラスチック製容器、ポリエチレン製容器
- ・取扱い及び保管にあたり、銅、鉄、真鍮などの分解を促進する材質を使用してはならない。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

- ・蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

記載の無いもの、また「-」は、知見なし、あるいはデータなし

成分名／化学名	管理濃度	許容濃度
炭酸ナトリウム過酸化水素付加物	-	-
炭酸ナトリウム	-	-
炭酸水素ナトリウム	-	-

保護具

呼吸器の保護具

- ・保護マスクを着用する。必要に応じて防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク等を着用する。

手の保護具

- ・保護手袋、必要に応じて耐溶剤性手袋、ビニール手袋等を着用する。

目の保護具

- ・保護眼鏡（普通眼鏡型）、必要に応じて、ゴーグル型、保護面等を着用する。

皮膚及び身体の保護具

- ・保護衣、保護前掛け等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 白色粉状固体
臭い	: 無臭
臭いのしきい値	: データなし
pH	: 10~11 (3%水溶液)
融点/凝固点	: データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
自然発火温度(発火点)	: データなし (製品そのものは燃えないが、分解すると酸素ガス又は熱を発生し、支燃性を示す)
燃焼性(固体、気体)	: データなし
燃焼又は爆発範囲下限、上限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし

整理番号	ホワイトアップ 300GX20/CS	作成日	2002年9月26日
2747-03	横浜油脂工業株式会社	改定日	2016年2月22日

Ver. 11.08

蒸発速度	: データなし
比重	: 見掛け比重 0.68~0.78
溶解性	: 水に対する溶解度 14g/100ml (20°C)
オクタノール/水分分配係数	: データなし
分解温度	: 約120°C
粘度 (粘性率)	: データなし
その他のデータ	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

化学的安定性

- ・乾燥した冷暗所における有効酸素の残存率は、一年後で97~98%である。

危険有害反応性の可能性

- ・自己反応性なし。

避けるべき条件

- ・加熱状態
- ・水分、多湿雰囲気との接触

混触危険性物質

- ・鉄及びこれを含有する金属材料
- ・銅及びこれを含有する金属材料
- ・真鍮

危険有害な分解生成物

- ・データなし

その他

- ・情報は得られていない。

11. 有害性情報

個々の成分の有害性情報：記載の無いものは、GHS分類でカットオフ値以下であるもの、知見なし、あるいはデータなしの成分

・炭酸ナトリウム過酸化水素付加物

《急性毒性》

LD50(経口) ラット 2400mg/kg

LD50(経口) マウス 2200mg/kg

・炭酸ナトリウム

《急性毒性》

LD50(経口) ラット 4900mg/kg

《眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性》

区分2Aに該当する。

12. 環境影響情報

個々の成分の有害性情報：全成分において、GHS分類でカットオフ値以下、知見なし、あるいはデータなし

オゾン層への有害性： データなし

13. 廃棄上の注意

- ・内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

整理番号	ホワイトアップ 300GX20/CS	作成日	2002年9月26日
2747-03	横浜油脂工業株式会社	改定日	2016年2月22日

Ver. 11.08

14. 輸送上の注意

国際規制：

国連分類

クラス5.1 酸化性物質

国連番号

3378 過炭酸ナトリウム（パーオキシ炭酸ナトリウム）

容器等級：Ⅲ

海洋汚染物質：非該当

国内規制：

容器イエローラベル

140 酸化性物質

輸送の特定の安全対策及び条件

- ・ 容器の破損、漏れがないことをたしかめる。
- ・ 荷くずれ防止を確実にを行う。
- ・ 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
- ・ 直射日光を避ける。
- ・ 水漏れ厳禁。
- ・ 横積み厳禁。
- ・ 夏場の輸送時においては、熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと。
- ・ 輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う。転倒したり、激突させたりしない。

15. 適用法令

火薬類取締法：

対象外

高圧ガス保安法：

対象外

消防法：（ ）内は、指定数量

非危険物（消防法上の非危険物）

不燃物である

毒物及び劇物取締法（毒劇物取締法）：

非該当（該当物質は含有しない、詳細は 3. 組成、成分情報を参照）

労働安全衛生法：

表示対象物質を含有しない。（詳細は 3. 組成、成分情報を参照）

労働安全衛生法（有機溶剤中毒予防規則）：

非該当 該当成分を含有しない。（詳細は 3. 組成、成分情報を参照）

労働安全衛生法（危険物）：

非該当

特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法（PRTR法）：

非該当 該当物質は含有しない。（詳細は 3. 組成、成分情報を参照）

整理番号	ホワイトアップ 300GX20/CS	作成日	2002年9月26日
2747-03	横浜油脂工業株式会社	改定日	2016年2月22日

Ver. 11.08

16. その他の情報（参考文献等）

GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z7252:2009

GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
JIS Z7253:2012

GHS分類結果データベース（独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ）

中央労働災害防止協会安全衛生情報センターホームページ

JACA（日本オートケミカル工業会）編集：化学物質管理データベース

オートケミカル製品のための製品安全データシート作成指針改訂版（日本オートケミカル工業会）

危険物船舶運送及び貯蔵規則（海文堂）

※注意

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。